
イボババア完結

サダコレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イボババア完結

【Nコード】

N6701E

【作者名】

サダコレ

【あらすじ】

胸騒ぎが止まらないんですよ。風呂場のイスがカビだらけ

(前書き)

クーポンを無理矢理探すんだ

ババア

「おばあちゃんがしたげるけ！サダコレくよは座つときんさい！」

僕はさからいませんでした。もう大人なんです。

海老ピラフをレンジに入れ、サイコロステーキを作るおばあちゃん。

「ジュツワァー！ジュワジュワァーツツ！！」

僕（ババァーッッ！クリリンのことかーッッ！！）

すると遊びに来ていた叔父さんが冷静に突っ込みました。

おじはん

「お母さん、また入れたん？いけんが？」

叔父さんは冷静な男である。

ババア

「まあええが。サダコレくんがせかすんだもん！」

ああそうですとも！僕が悪いんです。

神様、生まれてきてごめんなさい。

僕は久しぶりに半ベソをかきそうになりながら、海老ピラフが出来るのを待ちました。10数分たったか、電子レンジは回り続けます。

そう、カッチカチのまま…。

カッチカチ？

そうです。何を押したのかはわかりませんが、海老ピラフは全然解凍されていません！

僕

「おばあちゃん！海老ピラフカチカチだよ！？おばあちゃん！？」

ババア

「おばあちゃん、電子レンジ、よくわからんもん。サダコレくんも
わからんだろ？」

おばあちゃんは「この日、キレイなお星さまになった。

.....
.....
.....
.....

(後書き)

掲示板で下ネタをかくな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6701e/>

イボババア完結

2011年1月30日03時15分発行